

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI  
(c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

014447869 \*\*Image available\*\*

WPI Acc No: 2002-268572/200231

XRPX Acc No: N02-209024

**Disk drive unit comprises optical pickup feed mechanism for detecting signal from disk**

Patent Assignee: CLARION CO LTD (CLAQ )

Inventor: HANADA H; KAGAWA Y; SUZUKI T; UCHIDA M

Number of Countries: 023 Number of Patents: 003

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
WO 200197002	A1	20011220	WO 2001JP5136	A	20010615	200231 B
JP 2001357587	A	20011226	JP 2000180939	A	20000616	200231
EP 1302844	A1	20030416	EP 2001941071	A	20010615	200328
			WO 2001JP5136	A	20010615	

Priority Applications (No Type Date): JP 2000180939 A 20000616

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

WO 200197002 A1 J 24 G06F-003/06

Designated States (National): CN US

Designated States (Regional): AT BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU  
MC NL PT SE TR

JP 2001357587 A 9 G11B-017/04

EP 1302844 A1 E G06F-003/06 Based on patent WO 200197002

Designated States (Regional): AT BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LI  
LU MC NL PT SE TR

Abstract (Basic): WO 200197002 A1

NOVELTY - A disk drive device comprises an optical pickup feed mechanism for detecting a signal from a disk, a disk loading mechanism for carrying a disk (D) using a loading roller driven by a loading motor, a mechanism controller (20) for controlling the loading motor, and an authentication controller (30) for recognizing the authenticated user and supply the mechanism controller (20) with a disk eject command when receiving a registered password and the disk eject command.

USE - Disk drive unit comprises optical pickup feed mechanism for detecting signal from disk

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - Mechanism controller (20)

Authentication controller (30)



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-357587

(P2001-357587A)

(43)公開日 平成13年12月26日 (2001.12.26)

(51)Int.Cl.  
G 11 B 17/04

識別記号  
3 1 1

F I  
G 11 B 17/04

テ-マ-ト (参考)  
3 1 1 W 5 D 0 4 6  
3 1 1 K

審査請求 未請求 請求項の数 9 O.L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2000-180939(P2000-180939)

(22)出願日 平成12年6月16日 (2000.6.16)

(71)出願人 000001487

クラリオン株式会社

東京都文京区白山5丁目35番2号

(72)発明者 内田 守彦

東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリオン株式会社内

(72)発明者 鈴木 徹也

東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリオン株式会社内

(74)代理人 100081961

弁理士 木内 光春

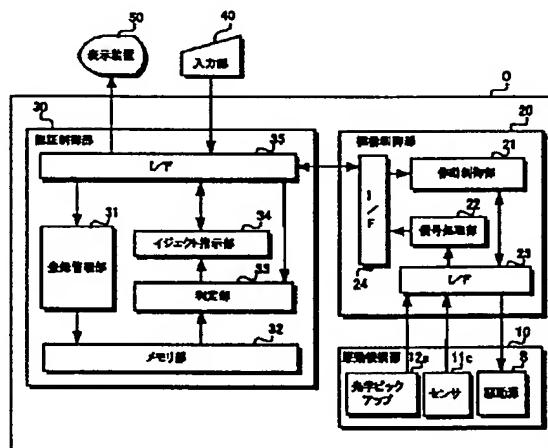
最終頁に続く

(54)【発明の名称】ディスクドライブ装置

(57)【要約】

【課題】 正当な使用者以外の者によるディスクの取り出しを確実に防止することができるディスクドライブ装置を提供する。

【解決手段】 ディスクの信号を検出する光学ピックアップ送り機構12と、ローディングモータ11aに駆動されるローディングローラ11bによって、ディスクDを搬送するディスクローディング機構11と、ローディングモータ11aの駆動を制御する機構制御部20と、あらかじめ登録されたパスワード及びディスク排出指示が入力された場合に、正当な使用者として認証して、機構制御部20にディスク排出指示を出力する認証制御部30とを有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ディスクの信号を検出する信号検出部と、ディスクを排出するディスク排出機構とを備えたディスクドライブ装置において、  
前記ディスク排出機構は、回転によりディスクを搬送可能な設けられたローディングローラと、前記ローディングローラの駆動源であるモータとを備え、  
前記モータの駆動を制御する機構制御手段と、  
ディスク排出指示及び認証情報が入力された場合に、前記機構制御手段にディスク排出指示を出力する認証制御手段と、  
を有することを特徴とするディスクドライブ装置。  
【請求項2】 前記認証制御手段には、認証情報を入力する認証情報入力手段が接続され、  
前記認証制御手段は、  
所定の認証情報を記憶する認証情報記憶部と、  
前記認証情報入力手段から入力された認証情報と前記認証情報記憶部に記憶された認証情報とが一致するか否かを判定する判定部と、  
ディスク排出指示が入力され、且つ前記判定部によって認証情報が一致すると判定された場合に、前記機構制御手段にディスク排出指示を出力するディスク排出指示部と、  
を有することを特徴とする請求項1記載のディスクドライブ装置。  
【請求項3】 前記認証情報は、ディスク固有の情報を有することを特徴とする請求項1又は請求項2記載のディスクドライブ装置。  
【請求項4】 前記認証情報は、パスワードであることを特徴とする請求項1又は請求項2記載のディスクドライブ装置。  
【請求項5】 前記認証情報入力手段は、複数のボタンによって操作される複数のスイッチを有し、  
前記認証情報は、前記複数のボタン操作に応じたスイッチ切り替えの順序及び回数の組み合わせに関する情報を有することを特徴とする請求項2記載のディスクドライブ装置。  
【請求項6】 前記認証情報入力手段は音声認識部を有し、  
前記認証情報は、話者限定音声情報を有することを特徴とする請求項2記載のディスクドライブ装置。  
【請求項7】 前記認証情報入力手段は指紋認識部を有し、  
前記認証情報は、指紋情報を有することを特徴とする請求項2記載のディスクドライブ装置。  
【請求項8】 前記認証情報入力手段は網膜パターン検出部を有し、  
前記認証情報は、網膜パターン情報を有することを特徴とする請求項2記載のディスクドライブ装置。  
【請求項9】 前記判定部における判定に用いられる認

証情報は、複数種類の認証情報における少なくとも2種であり、若しくは複数種類の認証情報における少なくとも2種のうちのいずれか1種であることを特徴とする請求項2~8のいずれか1項に記載のディスクドライブ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ディスクに記録された情報を検出するためのディスクドライブ装置に係り、特に、ディスクの排出機構の制御に改良を施したディスクドライブ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、パーソナルコンピュータには、CD-ROM、DVD-ROM、MOディスクなどのリムーバブルメディア用のディスクドライブ装置が設けられている。このディスクドライブ装置は、例えば、図7に示すように、パーソナルコンピュータの本体Cから出し入れされるトレイTに、ディスクDを載置することによってディスクDの導入排出を行うトレイ式のものが多い。

【0003】かかるトレイ式のディスクドライブ装置におけるディスクDの排出は、トレイTに設けられたイジェクトボタンEを操作して、トレイTを駆動する機構を作動させ、トレイTを本体Cから突出させることによって行われていた。また、パーソナルコンピュータのOS(オペレーティングシステム)上でディスク排出指示を入力すれば、トレイTを駆動してディスクDを排出させることができた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上述のようなディスクドライブ装置においては、イジェクトボタン操作やディスク排出指示入力を行うことによって、誰でも容易にディスクを取り出すことができた。このため、例えば、パーソナルコンピュータの正当な使用者以外の者も、容易にディスクを取り出すことができ、ディスクが盗難される可能性が高かった。

【0005】また、上述のようなトレイ方式のディスクドライブ装置の場合には、トレイを強制的に引出すことによって、トレイに載置されたディスクを取り出すことができるので、正常なディスク排出操作をしなくとも、ディスクを持ち去られる可能性がある。

【0006】本発明は、上記のような従来技術の問題点を解決するために提案されたものであり、その目的は、正当な使用者以外の者によるディスクの取り出しを確実に防止することができるディスクドライブ装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため、本発明は、ディスクの信号を検出する信号検出部と、ディスクを排出するディスク排出機構とを備えたデ

ィスクドライブ装置において、以下のような技術的特徴を有する。

【0008】すなわち、請求項1記載の発明は、前記ディスク排出機構は、回転によりディスクを搬送可能に設けられたローディングローラと、前記ローディングローラの駆動源であるモータとを備え、前記モータの駆動を制御する機構制御手段と、ディスク排出指示及び認証情報が入力された場合に、前記機構制御手段にディスク排出指示を出力する認証制御手段とを有することを特徴とする。以上のような請求項1記載の発明では、正当な使用者が、ディスク排出指示及び認証情報を入力することにより、認証制御手段から機構制御手段にディスク排出指示が出力され、機構制御手段がモータを駆動するので、ローディングローラが回転してディスクが排出される。一方、正当な使用者でない者が、ディスク排出指示及び誤った認証情報を入力しても、機構制御手段はディスク排出指示を出力せず、機構制御手段はモータを駆動させないので、ディスクは排出されない。また、ディスクの排出はローディングローラによって行うので、トレイ式のようにディスクを強制的に引出すことはできない。従って、正当使用者以外のディスクの持ち出しを確実に防止することができる。

【0009】請求項2記載の発明は、請求項1記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報制御手段には、認証情報を入力する認証情報入力手段が接続され、前記認証制御手段は、所定の認証情報を記憶する認証情報記憶部と、前記認証情報入力手段から入力された認証情報と前記認証情報記憶部に記憶された認証情報とが一致するか否かを判定する判定部と、ディスク排出指示が入力され、且つ前記判定部によって認証情報が一致すると判定された場合に、前記機構制御手段にディスク排出指示を出力するディスク排出指示部とを有することを特徴とする。以上のような請求項2記載の発明では、認証情報が入力された場合に、判定部において、所定の認証情報と一致すると判定されない限り、機構制御手段にディスク排出指示が出力されない。従って、正当な使用者が認証情報を管理しておくことによって、それ以外の者によるディスクの持ち出しを防止することができる。

【0010】請求項3記載の発明は、請求項1又は請求項2記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報は、ディスク固有の情報であることを特徴とする。以上のような請求項3記載の発明では、例えば、ディスクの内部に記録されるファイル名、ホルダーネーム、TOC（目次）情報、演奏時間、タイトル名等のディスク固有の情報を認証情報としているので、正当使用者が認証情報を記憶しやすい。

【0011】請求項4記載の発明は、請求項1又は請求項2記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報は、パスワードであることを特徴とする。以上のような請求項4記載の発明では、正当な使用者にとって管理

が容易なパスワードによって、盗難防止を図ることができる。

【0012】請求項5記載の発明は、請求項2記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報入力手段は、複数のボタンによって操作される複数のスイッチを有し、前記認証情報は、前記複数のボタン操作に応じたスイッチ切り換えの順序及び回数の組み合わせに関する情報であることを特徴とする。以上のような請求項5記載の発明では、ボタン操作の組み合わせによって、認証情報の入力を容易に行うことができる。

【0013】請求項6記載の発明は、請求項2記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報入力手段は音声認識部を有し、前記認証情報は話者限定音声情報であることを特徴とする。以上のような請求項6記載の発明では、音声によって正当な使用者か否かを認証するので、本人の確認をより正確に行うことができる。

【0014】請求項7記載の発明は、請求項2記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報入力手段は指紋認識部を有し、前記認証情報は、指紋情報であることを特徴とする。以上のような請求項7記載の発明では、指紋によって正当な使用者か否かを認証することができるので、本人の確認をより正確に行うことができる。

【0015】請求項8記載の発明は、請求項2記載のディスクドライブ装置において、前記認証情報入力手段は網膜パターン検出部を有し、前記認証情報は、網膜パターン情報であることを特徴とする。以上のような請求項8記載の発明では、網膜パターンによって正当な使用者か否かを認証することができるので、本人の確認をより正確に行うことができる。

【0016】請求項9記載の発明は、請求項2～8のいずれか1項に記載のディスクドライブ装置において、前記判定部における判定に用いられる認証情報は、複数種類の認証情報における少なくとも2種であり、若しくは複数種類の認証情報における少なくとも2種のうちのいずれか1種であることを特徴とする。以上のような請求項9記載の発明では、複数種類の認証情報の組み合わせによって正当な使用者を認証することができるので、正当な使用者以外の者によるディスクの持ち出しを、より確実に防止できる。

【0017】

【発明の実施の形態】【1. 実施の形態の構成】本発明の実施の形態を、図1～6を参照して以下に説明する。なお、本実施の形態における認証制御部、機構制御部のうち情報処理に関する部分は、典型的には、ソフトウェアで制御されるCPU（コンピュータ本体のものであっても、ディスクドライブ装置専用のものであっても、外部処理装置のものであってもよい）及びその周辺回路において実現される。この場合のソフトウェアは、ハードウェアを物理的に活用することで本発明の作用効果を実

現するものであるが、ソフトウェアやハードウェアの種類や構成、ソフトウェアで処理する範囲などは各種変更可能であるため、以下の説明では、本発明及び本実施の形態の各機能を実現する仮想的回路ブロックを用いる。さらに、本発明は、これをコンピュータによって実現するためのソフトウェアを記録した記録媒体として把握することもできる。

【0018】すなわち、本実施の形態は、図1に示すように、コンピュータ本体C内に構成された駆動機構部10、機構制御部20及び認証制御部30、コンピュータに接続されたキーボード、マウス等の入力部40及びCRTやLCD等の表示装置50によって構成されている。駆動機構部10は、図2に示すように、筐体10a内に配設されたディスクローディング機構11、光学ピックアップ送り機構12、ターンテーブル13、図示しないクランプ機構等によって構成されている。筐体10aには、図3に示すように、ディスクDの挿入口10bが形成されている。そして、図3及び図4に示すように、筐体10aは、引出し不可能なようにコンピュータ本体C内に収容され、挿入口10bのみが露出している。

【0019】ディスクローディング機構11は、ギヤ機構を介してローディングモータ11aによって回転するローディングローラ11bと、このローディングローラ11bとの間でディスクDを挟持するディスクガイド(図示せず)によって構成されている。そして、ローディングローラ11bは、図示しないローラ接離機構によってディスクDに接離する方向に移動可能に設けられている。なお、筐体10a内の挿入口10b近傍には、ディスクDの挿入・排出を検出するセンサ11cが配設されている。

【0020】光学ピックアップ送り機構12は、ディスク信号検出用の光学ピックアップ12aを、表面にネジが切られたリードスクリュー12bと、これと平行に配設されたガイドシャフト12cとの間にスライド移動可能に配設したものである。リードスクリュー12bは、ギヤ機構を介して送り出しモータ12dによって回転可能に設けられ、その回転によって光学ピックアップ12aをディスクDの径方向にスライド移動させることができる。なお、光学ピックアップ12aには、トラッキングやフォーカシングを行うためのアクチュエータが構成されている。

【0021】ターンテーブル13は、信号検出時のディスクDが載置される部材であり、スピンドルモータ13aによって回転可能に設けられている。なお、クランプ機構は、図示しないクランバーとターンテーブル13との間でディスクDの内径を挟持するための機構である。

【0022】機構制御部20は、駆動機構部10におけるローディングモータ11a、送り出しモータ12d、スピンドルモータ13a、光学ピックアップのアクチュ

エータ、ローラ接離機構のモータ等の各種駆動源(図1のS)を制御する作動制御部21と、光学ピックアップ12aによって検出された信号を処理する信号処理部22と、駆動機構部10及び認証制御部30との間のインターフェイス(I/F)23、24とを有している。

【0023】認証制御部30は、あらかじめ登録される認証情報を管理する登録管理部31と、認証情報を記憶するメモリ部32と、メモリ部32に記憶された認証情報と入力された認証情報を照合して一致するか否かを判定する判定部33と、入力部40からディスク排出指示が入力されるとともに、判定部33において認証情報が一致すると判定された場合に、機構制御部20にディスク排出指示を出力するイジェクト指示部34と、機構制御部20、入力部40及び表示装置50との間のインターフェイス(I/F)35とを有している。なお、図1では、コンピュータ本体Cに備えられるべき、各種演算装置、記憶装置等の図示は省略されている。

【0024】[2. 実施の形態の作用]

【2-1. ディスクの挿入】以上のような本実施の形態の作用を説明する。すなわち、正当使用者であるユーザは、挿入口10bからディスクDを挿入すると、センサ11cによってディスク挿入が検出される。すると、作動制御部21の指示によってローディングモータ11aが作動するので、ローディングローラ11bがディスク導入方向への回転を開始する。これにより、ディスクDはローディングローラ11bとディスクガイドとの間に挟持されながらターンテーブル13側へ引き込まれる。そして、ターンテーブル13上にディスクDの内径が合ったときにローディングローラ11bが下降し、その後、クランプ機構によって、クランバーとターンテーブル13との間でディスクDが挟持される。

【0025】このようにディスクDがターンテーブル13上にセットされると同時に、ローディングローラ11bは、そのローラ接離機構によってディスクDから離れる方向に移動して、ディスクDを解放する。そして、スピンドルモータ13aの作動によってターンテーブル13上のディスクDを回転させながら、送り出しモータ12d及びアクチュエータの作動によって光学ピックアップをディスクDの径方向に移動させて、ディスクDに記録された信号を検出する。検出された信号は信号処理部22によって処理され、コンピュータのCPUに出力される。

【0026】[2-2. パスワードによる盗難防止]以上のように駆動機構部10内に収容されたディスクDは、以下に示すような手順によって、正当な使用者以外の者による取り出しが防止される。この手順を、図5及び図6のフローチャートに従って以下に説明する。なお、本実施の形態においては、パスワードの入力に際して、表示装置50にダイアログボックス等の入力用画面表示がなされるように設定されている。

【0027】まず、ディスクの盗難防止を設定したい正当使用者は、入力用画面に従って入力部40から任意のパスワードを入力する（ステップ501）。すると、このパスワードが認証制御部30における登録管理部31によって、正当使用者のパスワードとしてメモリ部32に記憶され（ステップ502）、事前の設定処理が終了する。そして、正当使用者が、ディスクDを取り出した場合には、入力部40からディスク排出指示を入力する（ステップ601）。すると、表示装置50に、パスワードの入力用画面が表示されるので、上記のように登録したパスワードを、入力部40から入力する（ステップ602）。

【0028】判定部33においては、入力されたパスワードとメモリ部32に記憶された正当使用者のパスワードとが照合され、一致するか否かが判定される（ステップ603）。そして、一致すると判定された場合には、イジェクト指示部34が、機構制御部20の作動制御部21にディスク排出指示を出力する（ステップ604）。

【0029】このようにイジェクト指示部34からのディスク排出指示が入力された作動制御部21は、クランプ機構からディスクを解放させ、ローディングモータ11aに対して作動指示を出力するとともに、ローラ接離機構に対して、ローディングローラ11bをディスクDに接する方向へ移動させる指示を出力するので（ステップ605）、ディスクDは、ディスク排出方向に回転するローディングローラ11bとディスクガイドとの間に挟持されながら、挿入口10bから排出される（ステップ606）。なお、ディスクDの排出完了が、センサ11cによって検出されると、作動制御部21はローディングモータ11aを停止させる。

【0030】一方、正当使用者でない者からディスク排出指示が入力され（ステップ601）、表示装置50に表示された入力用画面に従って、あらかじめ登録されたものでないパスワードが入力された場合には（ステップ602）、判定部33によってパスワードが一致しないと判定されるので（ステップ603）、ディスクDの排出指示が出力されず、ローディングローラ11bは作動しないので、ディスクDを取り出すことはできない。なお、図6では、ステップ603でパスワードが一致しないことが確認されたときは、そのまま図6の処理を終了させるようにしているが、再びパスワードの入力を要求する画面が表示されるように設定してもよい。

【0031】【3. 実施の形態の効果】以上のような本実施の形態の効果は以下の通りである。すなわち、あらかじめ登録されたパスワードを入力しなければ、ディスクDが排出されないので、正当使用者以外の者はディスクDを取り出すことができない。

【0032】また、駆動機構部10はトレイ式ではなく、ローディングローラ11bによってディスクDを搬

送する方式なので、ディスクDのみを強引に引出せるような構造となっておらず、しかも、駆動機構部10の筐体10a自体はコンピュータ本体Cに引出しできないように収容されているので、正当使用者以外の者による強引なディスクDの取り出しを防止することができる。

【0033】このように、ソフトウェア的な手段と機構的な手段によって、正当な使用者以外の者によるディスクDの取り出しを防止できるので、ディスクDの盗難を確実に防ぐことができる。

【0034】【4. 他の実施の形態】本発明は、上記の実施の形態に限定されるものではない。まず、上記の実施の形態では、ユーザーが任意のパスワードを入力して登録し、その後、排出を希望するときに、そのパスワードを入力して認証を得るものとして説明したが、ディスク固有の情報（例えば、内部に記録されるファイル名、ホルダーナンバー、TOC（目次）情報、演奏時間（特定の曲のものでも全体の総演奏時間でもよい）、ディスクのタイトル名等）を入力して認証を得るようにしてもよい。この場合は、ユーザーによるパスワードの登録処理を不要とすることもできる。

【0035】かかる場合には、デフォルトで上記のディスク固有情報がディスクから自動的に読み込まれてメモリ部に記憶・登録され、ユーザーが入力したディスク固有情報との一致若しくは不一致が判定部によって判定されるように構成することも可能である。また、ディスク挿入時に画面表示される複数の固有情報の中から、ユーザーが選択した固有情報が、メモリ部に記憶・登録されて認証に用いられるように構成することも可能である。このようにディスク固有情報を用いることによって、ユーザーは、パスワードよりも認証情報を覚えやすくなるとともに、認証情報の登録も容易となる。

【0036】また、認証情報を入力する入力手段としては、キーボードやマウスには限定されない。例えば、ディスクを記録媒体として用いるゲーム装置や音響・映像装置等に本発明を適用し、ゲームパッドのボタン、ジョイスティック、エスカッションの操作ボタン、リモコン等の入力手段から、認証情報を入力する構成とすることも可能である。

【0037】かかる場合には、画面表示された表から文字、数字、記号等を選択してパスワードを入力することもできるが、例えば、複数のボタンを押す順序や回数の組み合わせを認証情報として設定することも可能である。このような設定にすると、ボタン操作によって認証情報の設定、入力を容易に行うことができる。

【0038】また、パスワードはいわゆる暗証番号のみならず、文字、記号、数字のいずれか若しくはこれらの組み合わせでもよい。但し、認証情報の種類はパスワードには限定されない。例えば、認証制御手段に接続される入力手段として、音声、指紋若しくは網膜パターンを検出し、照合に適した信号に変換する認識装置を設け、

これらの認識装置からの信号に基づいて、正当使用者を判定する構成とすることも可能である。

【0039】より具体的には、上記の実施の形態におけるI/F35に音声認識装置を接続した場合には、いわゆる特定話者（話者限定）方式の認証を行うことができる。まず、音声認識装置から正当使用者の音声を入力すると、音声信号が登録管理部31によってメモリ部32に格納される。次に、ディスク排出指示を入力した正当使用者から、音声認識装置を介した音声信号の入力があると、判定部33によって、入力された音声信号とメモリ部32に格納された正当使用者の音声信号とが照合され、一致する場合にはイジェクト指示部34からディスク排出指示が出力される。一致しない場合には、ディスク排出指示は出力されない。指紋認識装置や網膜パターン認識装置を接続した場合も同様である。なお、音声の場合には、使用可能な語句を、任意の語句やあらかじめ設定された語句に限定することによって、認識の精度を高めることも可能である。

【0040】さらに、上記のような各種の認証情報を組み合わせて用いることも可能である。例えば、パスワードと音声信号とをメモリ部に記憶しておき、このパスワード及び音声の双方が、キーボードから入力されたパスワード及び音声認識装置からの音声信号と一致した場合に、ディスク排出処理がなされる構成としてもよい。また、登録したパスワード及び音声のいずれか一方が、入力された認証情報と一致した場合に、ディスク排出処理がなされる構成としてもよい。かかる組み合わせは、パスワード、ボタン操作、音声、指紋、網膜パターンうちのいずれでもよく、その他の種類の認証情報であってもよい。

【0041】また、駆動機構部10の筐体10aは、コンピュータ本体Cと一体に形成することによって、さらに盗難防止効果を高めることができる。また、挿入口10bの位置は、コンピュータ本体Cにおけるどのような位置であってもよい。

【0042】また、ローディングローラを用いたディスクローディング機構は、上記の実施の形態に限定されるものではない。例えば、実公平5-1003号公報や特公平6-103568号公報に示すもの等、周知のあらゆる技術が適用可能である。また、ディスクの挿入・排出等を検知するセンサの種類、位置及び数は、自由に設計可能であり、特公平6-103568号公報に示す技術のように、複数のセンサを用いることによって、ディスク径の判別や異物の挿入防止を図る構成としてもよい。

【0043】また、クランプ機構は、ターンテーブル側が上昇することによって、駆動機構部の天井に配設されたクランバーにディスクが圧着される構成としてもよい。クランプ機構によるディスクの解放及び圧着とローラ接離機構によるローディングローラのディスクの圧着

及び解放を連動させるリンク機構を設けた構成としてもよい。

【0044】さらに、本発明が適用されるディスクドライブ装置は、デスクトップやノート型のパーソナルコンピュータ用のものには限定されない。例えば、上記のようにゲーム機の記録媒体用のドライブ装置や音響・映像機器の記録媒体用のドライブ装置としても用いることができる。従って、表示装置も、テレビジョン受像機、LEDによる表示機等であってもよい。また、記録媒体は、記録再生用のものであっても、再生専用（信号読み取り専用）のものであってもよく、ローディングローラによって搬送可能な記録媒体のための装置であれば、どのような種類や大きさの記録媒体を対象とする装置であってもよい。

【0045】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、正当な使用者以外の者によるディスクの取り出しを確実に防止可能なディスクドライブ装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のディスクドライブ装置の一つの実施の形態を示す機能ブロック図である。

【図2】図1の実施の形態における駆動機構部を示す平面図である。

【図3】図1の実施の形態における駆動機構部を示す正面図である。

【図4】図1の実施の形態におけるコンピュータ本体のディスク挿入口を示す斜視図である。

【図5】図1の実施の形態における登録処理の手順を示すフローチャートである。

【図6】図1の実施の形態における認証処理の手順を示すフローチャートである。

【図7】トレイ式のディスクドライブ装置を組み込んだパーソナルコンピュータの一例を示す斜視図である。

【符号の説明】

10…駆動機構部

10a…筐体

10b…挿入口

11…ディスクローディング機構

11a…ローディングモータ

11b…ローディングローラ

11c…センサ

12…光学ピックアップ送り機構

12a…光学ピックアップ

12b…リードスクリュー

12c…ガイドシャフト

12d…送り出しモータ

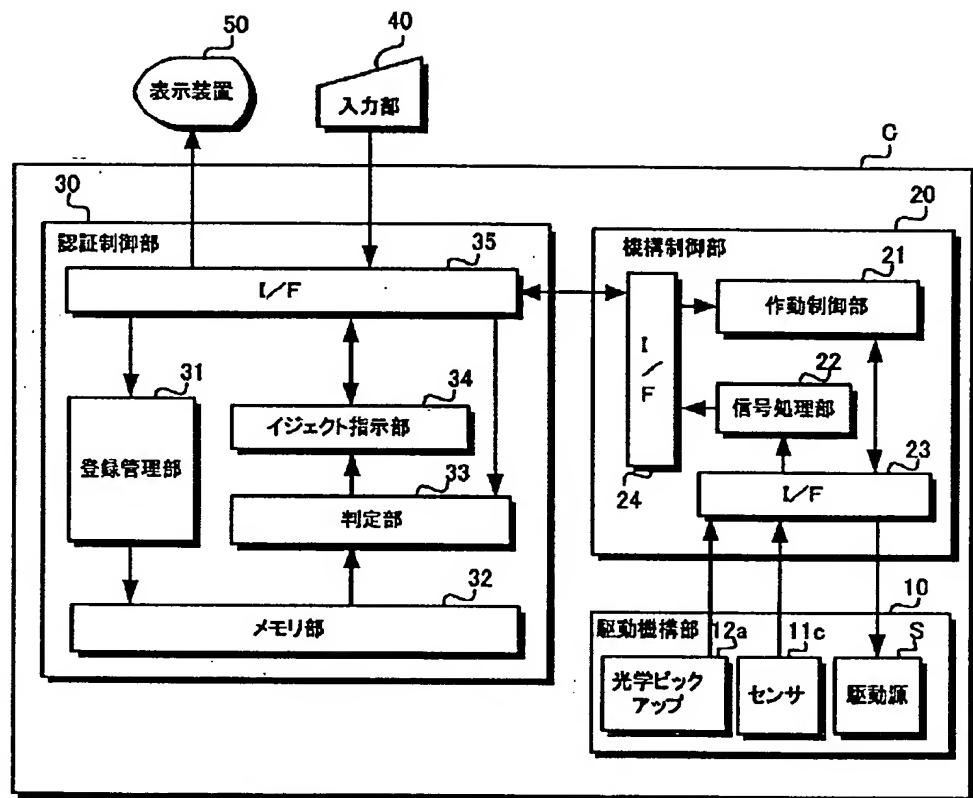
13…ターンテーブル

13a…スピンドルモータ

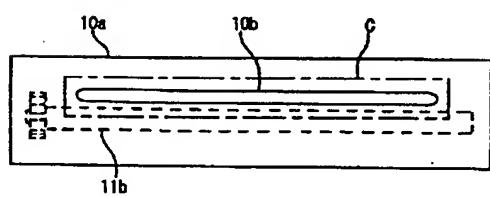
20…機構制御部

21…作動制御部	40…入力部
22…信号処理部	50…表示装置
23, 24, 35…インターフェース (I/F)	501以降…手順の各ステップ
30…認証制御部	C…コンピュータ本体
31…登録管理部	D…ディスク
32…メモリ部	S…駆動源
33…判定部	T…トレイ
34…イジェクト指示部	

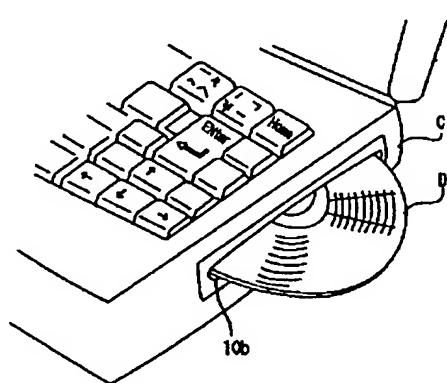
【図1】



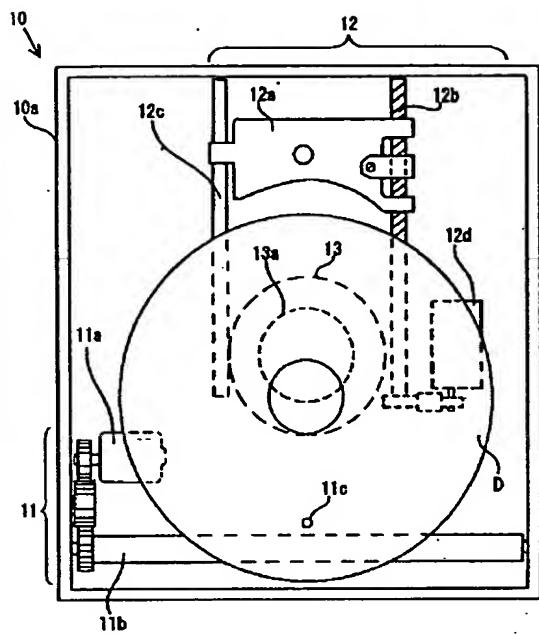
【図3】



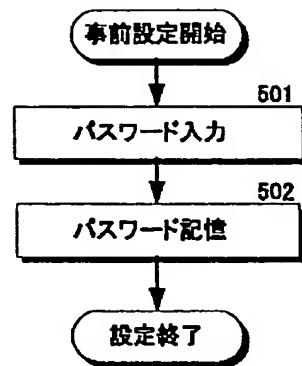
【図4】



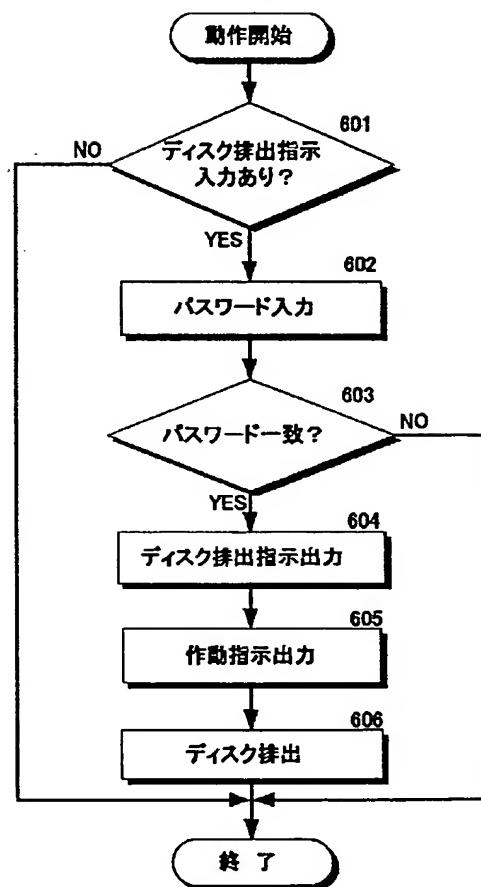
【図2】



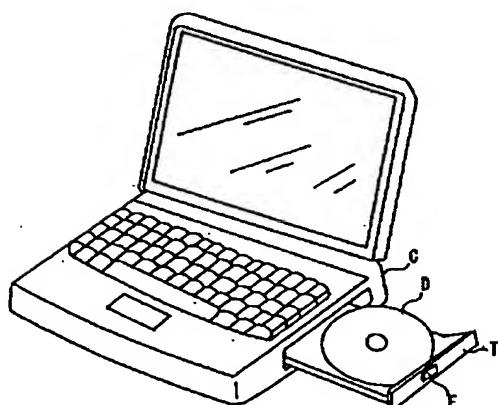
【図5】



【図6】



【図7】



!(9) 001-357587 (P2001-35JL8

フロントページの続き

(72)発明者 香川 佳和  
東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリ  
オン株式会社内

(72)発明者 半田 敬人  
東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリ  
オン株式会社内  
F ターム(参考) 5D046 CB03 CD03 GA20 HA10

